

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第23号	発行日	令和5年11月27日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【校則についてのアンケートを実施します。】

昨年12月の「生徒指導提要」の改定に伴い、各校で校則の見直しが行われています。「生徒指導提要」とは、文部科学省が、小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができるよう、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として作成したものです。

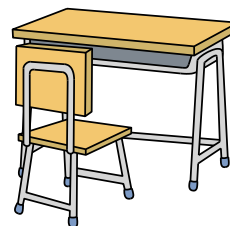
本校では取組が遅れておりましたが、今学期末より、生徒の意見を参考にしながら、随時校則の改訂を進めていきます。生徒からの意見については12月1日(金)に全校生徒を対象にアンケートを実施いたします。

目的 生徒自身が、よりよい学校生活をおくるために必要なことを考える。

日時 12月1日(金)朝読書の時間

対象 全校生徒

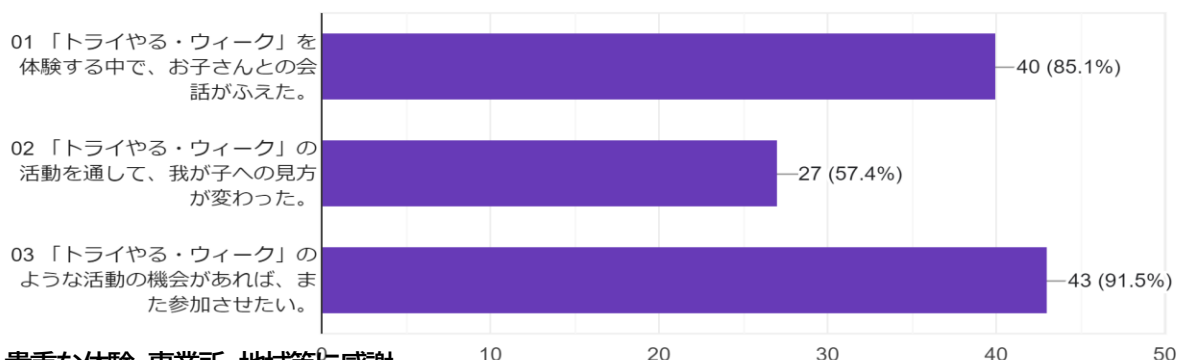
方法 グーグルフォームによるアンケート



【トライやる・ウィーク 保護者アンケート】

11月6日(月)～11月10日(金)に行いました2年生トライやる・ウィークのアンケートをいたしました。47件の回答をいただきました。次年度の参考とさせていただきます。ありがとうございました

た 次の01～03について、「そう思う」と感じる番...ださい。(複数を選択いただいてもかまいません)
47件の回答



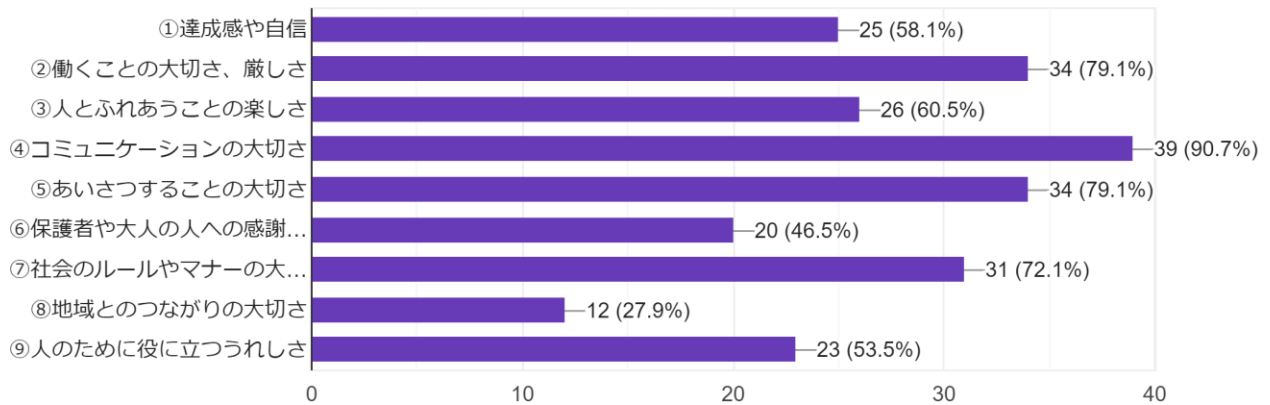
- ・貴重な体験。事業所、地域等に感謝。
- ・行き帰りのマナーが悪い。残念。
- ・子どもの成長を感じた。
- ・保護者も見学できれば……。 (職場により可否はあるが)
- ・「働くこと」や「人と接し方」など多くを学んだと思う。
- ・事業所の決め方について。

【社会で求められる力】

下のグラフは先日のトライやる・ウィークで受け入れていただいた事業所に回答いただいたアンケートのうち、「生徒に身につけてほしい力を以下から選んでください。」の回答結果です。

(複数回答可)

Ⅲ 受入先での社会体験において、生徒に身に付け...以下から全て選んでください。(複数回答可)
43件の回答



「コミュニケーション」、「あいさつ」、「社会のマナー・ルール」、「働くことの大切さ、厳しさ」が上位にあがっています。中でも「コミュニケーション」については90%を超える事業所の方が身につけてほしい力としてあげています。

立命館大学 教育開発推進機構 藤本学教授によって発表された ENDCORE モデルによるとコミュニケーション能力は以下の6つのスキルから構成されるそうです。

- ① 感情をコントロールする『自己統制スキル』
- ② 考えを言葉にする『表現力スキル』
- ③ 意図をくみとる『読解力スキル』
- ④ 聞き手の納得を得る『自己主張スキル』
- ⑤ 相手を尊重する『他者受容』スキル
- ⑥ 良好な関係を維持する『関係調整スキル』



- ① の自己統制(自律)をベースとして、自分や他人のコミュニケーション能力の特徴を分析し、接していくことが、スムーズな人間関係につながるそうです。

まずは、しっかりと自律した人間(自分で考え、自分で判断し、自分で行動する)になること、そして、人の気持ちをくみ取りながら対話をかさねていくことが大切です。

